

# 双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 11/30 第14号 文責 上田  
学校教育目標 「探究心を持って未来を創造し、心豊かにたくましく生き抜く生徒の育成」

## 12月是人権月間です。

1948年12月10日に国際連合総会で「世界人権宣言」が採択されたことを記念し、12月10日を「世界人権デー」とし、日本では12月4日から10日を「人権週間」、12月を人権月間としています。世界人権宣言の第1条は、「すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。」としています。つまり、基本的人権は生まれながらにして全ての人に保障されているのです。しかし、現実の社会では、差別意識がなくなっていません。「障害がある方への差別」「外国人への差別」「女性への差別」そして「同和問題」など例をあげれば次々と出てきます。差別意識をなくしていく第一歩は他者を思いやる気持ちをもつことだと考えます。社会にはさまざまな価値観があり、さまざまな考え方があります。しかし、往々にして他者のことを自分と同じ価値観、考え方と独りよがりにとらえがちです。そして、他者が自分と違う言動をすると他者への攻撃が始まることがあります。まず、他者の自分とは違う価値観や考え方を共有することから始める必要があります。このことが他者を思いやる気持ちにつながります。他者の思いを想像して言動を行うことが大切なのです。

本校においても、人権学習を実施しています。1年生は「障害のある人達への接し方を考える中で、バリアフリーを考える」、2年生は「外国人問題と共生について考える」、3年生は「同和問題にスポットをあて、人権問題を考える」をテーマにしています。一人一人の生徒が人権への思いを新たにしてくれることを願っています。

## 認証式

11月18日（金）に生徒会本部役員と後期学級委員の認証式を行いました。まず前生徒会長が退任のあいさつをしてくれました。どの生徒も双ヶ丘中学校を少しでもよい学校にしようと全校生徒と協力しながら活動してくれたことに感謝します。生徒会活動で得たことをこれからの学校生活に活かしていきましょう。

その後、生徒会長をはじめ生徒会本部の皆さんに認証書を渡し、代表として会長があいさつをしてくれました。あいさつを聞いているとこれからの生徒会活動への意気込みを感じました。活躍を期待しています。続いて後期学級委員の皆さんを認証し、代表生徒に認証書を手渡しました。

## 小学生半日体験入学

11月25日（金）校区内4小学校（御室、宇多野、花園、高雄）の6年生たちが、来年度の入学に向けて、中学校の授業体験、部活動見学を行いました。

小学校では、卒業に向けて色々な取組がはじまっていると思います。そのひとつとして、中学校を体験してもらいました。みんな元気な姿で4月の入学式を迎えられますように。



## 秋季大会結果

- ・バドミントン：男子ダブルス 2年KN君/KK君ペア第3位
- ・水泳：2年女子NRさん50mバタフライ第1位・400m自由形第3位、  
2年男子AT君200m自由形第2位、2年男子SS君200m背泳ぎ第2位
- ・陸上競技：女子走り高跳び 2年HSさん第1位      ・剣道：個人戦1年男子NF君優勝
- ・卓球：1年男子団体優勝      ・ソフトテニス：1年NIさん/SKさんペア優勝
- ・ワンダーフォーゲル：クライミング競技2年女子YKさん第5位

（裏面に12月の行事予定をのせております。ご覧ください。）＊コロナの状況により、変更する場合があります。